



# やまがた環境展2024 出展票

<b>展示No</b>	<b>出展者名</b>	<b>出展分野</b>
(山形県)	① 公益財団法人 やまがた森林(もり)と緑の推進機構 ②~④ みどり自然課	環境保全
<b>所在地</b>	〒990-2363 山形市大字長谷堂字馬場2256	
<b>連絡先</b>	① 公益財団法人 やまがた森林(もり)と緑の推進機構 ② みどり自然課	URL : ①saito@ymidori.or.jp ②ymidori@pref.yamagata.jp
<b>部署名</b>	① 緑化推進課 緑化推進課 ②~④ みどり自然課	TEL : ①023-688-6633 023-630-2432 ②023-630-2206 ③023-630-3404 ④023-630-2208
<b>担当名</b>	① 緑化推進課 緑化推進課 主事 齊藤 康雄 みどり自然課 技師 加藤 駿 ② みどり自然課 自然公園主査 吉田 正信 ③ みどり自然課 主事 高谷 圭一郎 ④ みどり自然課 野生生物対策主査 佐藤 瑞穂	FAX : ①023-688-6634 ②~④ 023-625-7991

## << 出展内容 >>

<b>環境に配慮しているポイント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森づくり活動</li> <li>・ 森林保全</li> <li>・ 自然と野生鳥獣の共生</li> <li>・ 生物多様性の保全</li> <li>・ 外来生物駆除</li> <li>・ 希少野生植物保護</li> </ul>	<b>対象者</b>
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般層 <input checked="" type="checkbox"/> 学生・子供 <input checked="" type="checkbox"/> ビジネス層 <input type="checkbox"/>

## 内容

### 出展内容

- ①◇山形県の豊かな自然を守るために私たちに何ができるのか。実際に見て、触れて、学んで考えてみよう！  
 ・出展ブースではやまがた木育を通して「山形の森林」に触れて創って学んでいただきます。森林のはたらきのお話を聞いた後に、県産木材を使った木工体験ができますのでぜひお立ち寄りください！  
 また、当ブースでは「やまがた緑環境税」を活用した取組みも紹介します！
- ②◇山形県の冬のシンボル「蔵王の樹氷」が危機的状況にあることを知っていますか？  
 ・樹氷を形成する針葉樹：オオシラビソ（通称アオモリトドマツ）が、虫害により枯れてしまっています。山形県で枯れているのは、約23,000本、約16haにもおよびます。  
 ・世界的にも希少で貴重な自然景観の「蔵王の樹氷」を守り続けるため、オオシラビソの再生、樹氷の復活に取り組んでいます。  
 ・「蔵王の樹氷」の現状、再生・復活に向けた取組みを映像や写真で紹介いたしますので、ぜひご覧ください。
- ③◇目指せ！ハンター（狩猟者）！！  
 ・狩猟者とは狩猟免許を持ち、網・わな・猟銃を用いて「狩猟」を行う人のことです。  
 ・かつては数多くの狩猟者がいましたが、生活環境の変化や趣味の多様化により、その数は減少が続いています。  
 ・そのうえ、近年はクマやイノシシによる生活被害や農林業被害が増加し、狩猟者の社会的ニーズは高まっています。  
 ・当ブースでは、「狩猟の意義」や「狩猟者になるには」について、猟具の展示やリーフレットをご紹介します。
- ④○2022年に昆明・モントリオール生物多様性枠組として2030年までの新たな生物多様性の世界目標が採択された。  
 ○この目標を達成するために、日本を含めた全世界で生物多様性の保全や再生だけにとどまらず回復軌道に乗せるための、気候変動対策、生産のあり方、消費のあり方も含めた緊急な社会変革が必要になる。  
 ○その具体的な行動につなげるきっかけとなるように一般の方々に普及啓発を行い、生物多様性を守ることの大切さを伝える。  
 ・ぬりえやじゃばら絵本作成体験  
 ・小冊子やチラシ配布



森林についての話と木工体験



樹氷復活関連のPR



狩猟者が使用する猟具



じゃばら絵本



小冊子



ポスター

リサイクル認定製品